

令和8年度 大学院連合教職実践研究科入学者選抜（7月選抜）

教科研究開発高度化系
教科学習探究コース 言語・文化プログラム
専門科目：プログラム別問題（教科：国語）

【出題の意図】

1（配点30点）

国語教育、近現代文学、古典文学、漢文学、日本語教育の分野から事項を出題し、回答者の専門性に応じて選択できるように出題した。採点にあたっては、選択した事項の基礎的知識に関する記述が十分になされているか、発展的な理解に関する記述がなされているかを評価している。また文法、使用語彙、構成、分量、表記など文章表現の面からも評価している。

2（配点70点）

小学校・中学校・高等学校のいずれかの学校種を選択し、学習指導要領に基づいて、領域に応じた学習指導案を記述する力を問うている。文部科学省、国立教育政策研究所、各都道府県の教育委員会の用意している学習指導案や評価に関する資料を理解し、記述に反映できているかを評価している。特に、単元目標を適切に設定できているか、単元の評価の計画を設定できているか、本時案における評価の方法の記述がなされているかという観点で採点している。また、単元計画と本時案について、現実的な授業計画となっているかという点も評価している。

令和8年度 大学院連合教職実践研究科入学者選抜（7月選抜）

教科研究開発高度化系
教科学習探究コース 言語・文化プログラム
専門科目：プログラム別問題（教科：英語）

【解答】

1

問1（配点10点）

コンピテンシーとは単に知識や技能を指すものではない。それはある特定の文脈のなかで心理社会的な資源（技能や態度を含む）に依拠し、同時にその資源を動員することによって、複雑な諸要求に応じる能力を含むものである。

問2（配点10点）

種々の教育システムや生涯学習にかかる目的を同定するとともに、若者や成人が人生の諸課題に対してどの程度準備できているのかを査定することの改善につながるから。

問3（配点10点）

1）社会と個人にとって価値のある結果に貢献する。2）個人が多様な文脈のなかで重要な要求に応じることを手助けする。3）専門家だけでなく全ての個人にとっても重要でなければならない。

問4（配点10点）

1）個人は環境と効率的に相互作用するために広範囲の道具を使用できる必要がある。2）ますます相互依存的になる世界において、個人は他者と交流できる必要がある。3）個人は自身の人生をなんとかする責任を負い、より広い社会的文脈のなかで自身の生活を定位し、自律的に振る舞う必要がある。

問5（配点10点）[出題の意図]

英語を使用するコミュニケーション能力をキー・コンピテンシーの観点からどのように捉え直すことができるのかについて、思考力と表現力をたずねた。

2

（配点50点）[出題の意図]

英語の音読を心理言語学的な観点から正しく理解できているか、また「主体的対話的で深い学び」のなかに音読を取り入れた創造的な教育実践を構想することができるかについて、思考力と表現力をたずねた。